

事業所職員による放課後等デイサービスに対する評価及び意見

- ・ 放課後等デイサービスを利用する障害児に関わる職員 4名が回答
- ・ アンケート実施日 令和3年2月
- ・ 評価の方法(3択)「はい・どちらともいえない・いいえ」

チェック項目		評価と意見 及び 改善内容
環境・体制整備	1 職員の配置数は適切であるか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・全体の職員数やシフトがわからない(1名) ⇒ 介護職員配置表(シフト表)の他に放デイ職員配置表を作成し、全職員の配置が把握出来るようにします。</p>
	2 事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	<p>はい 3名 どちらともいえない 1名</p>
業務改善	3 業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・放デイを担当する児童指導員と介護スタッフのみで取り組んでいる(1名) ⇒ 全体スタッフミーティングで放デイ利用者の課題・目標等を話し合います。</p>
	4 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<p>はい 1名 どちらともいえない 3名</p> <p>・コロナ禍で研修の機会が無かった(1名) ・研修の案内や情報発信はされている(2名) ⇒ 事業所内でオンライン研修を受講できる環境を整えます。</p>
適切な支援の提供	5 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・利用時の様子、保護者とのやり取りをその都度記録・報告しスタッフ間で話し合っている。計画に反映させている(1名)</p>
	6 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・必要な時には打ち合わせを、事前の確認はメールを活用し行っている(1名) ⇒ 個々の打ち合わせになる時もあるので、担当者4人が同時に情報を得られるシステムを作ります。</p>
	7 定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・担当職員4人で打ち合わせを行うことが難しい(1名) ・2名が介護サービスと兼任しており打ち合わせの時間が取れない、伝言程度になる(1名) ・定期的には難しいがこまめに相談をし合っている(1名) ⇒ 今年度から放デイ専用の介護記録日誌を作り、情報共有に活用しています。介護サービス日誌と分けたことで、有効的に使えています。</p>
	8 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<p>はい 4名</p> <p>・記録は毎日しっかり取っており検証に活用している(1名)</p>
	9 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<p>はい 1名 どちらともいえない 3名</p> <p>・保護者と会う機会が多いのでその都度聞き取りをしているが、定期的に時間を取ることが難しい(1名) ⇒ 計画的にモニタリングを行い保護者・子どもと話し合う時間を作ります。</p>
関係機関や	10 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・サービス担当者会議の開催がない場合が多い(1名) ・会議に学校関係者(担任等)に出席して欲しい(1名) ⇒ 必要と感じた場合にはこちらから会議の開催を促します。</p>
	11 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	<p>はい 1名 どちらともいえない 2名 いいえ 1名</p> <p>・学校のHPを閲覧して行事予定を確認している(1名) ・下校時間の変更に対応できない時がある(2名) ・学校と直接情報共有出来ていない(1名) ⇒ 保護者向けに配布する連絡をDSにも出してもらおう等、連絡を取り合う手立てを話し合います。</p>

保護者との連携	12	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか
	13	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか
	14	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか
	15	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
	18	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
	20	個人情報に十分注意しているか
	21	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
	22	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
非常時	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

現在受け入れ無し		
どちらともいえない 2名	いいえ 2名	
・就学前の情報は相談支援事業者から十分に入手できる(1名) ・必要な情報は問い合わせしており共通理解が図れている(1名)		
はい 1名	どちらともいえない 2名	無回答 1名
・就B事業所へ移行した該当者が日中一時を利用しており、事業所へ送迎に出向いた際に担当者間で情報交換をおこなっている(1名)		
はい 4名		
・児童館へ行き他のお子さんと交流する機会がある(3名)		
はい 3名	どちらともいえない 1名	
・送迎時に短時間でも子どもの様子を伝えるようにしている(1名) ・連絡帳で情報交換している(1名) ・連絡は電話やメールを活用しこまめに連絡を取り合っている(1名) ・利用者によって異なる(1名) ⇒ 保護者とは十分に連絡を取っていると感じています。更に状況や課題を整理して伝える機会を作ります。		
はい 3名	どちらともいえない 1名	
・管理者が行っているので丁寧かどうか分からない(1名) ⇒ 今後は担当者同席のもとで説明を行います。		
はい 2名	どちらともいえない 2名	
・児童指導員または管理者が助言したり何らかの支援を行っている(1名) ・急を要する場面では、担当者が電話やLINEで即時助言を行っている(1名)		
はい 4名		
⇒ 担当者→管理者→スタッフ会議または理事会 で対応		
はい 4名		
はい 4名		
はい 2名	どちらともいえない 2名	
・例年「夏祭り」「物作り教室」等のイベントを開催して地域住民に参加して頂いているが、今年度はコロナ禍で開催しなかった		
はい 1名	どちらともいえない 2名	無回答 1名
・介護サービス提供時間内で訓練を実施しており、子どもが参加していない ⇒ 長期休み中で子どもが利用している介護サービス提供時間に訓練を行います。		
はい 4名		
・アレルギー、カロリー制限等に対応している ・食札にアレルギーや嫌いな物、グラム数を札に記してある ・食べ物(特におやつ)は目につかない場所に保管している		
はい 3名	いいえ 1名	
・当施設でヒヤリハットの事例が生じていないため事例集は無い ⇒ 起こりうるケースについて勉強会をします。		